

平成 27 年度全国学力・学習状況調査結果の概要と具体的な取組

平成 27 年 10 月 30 日
和歌山市立岡崎小学校

平成 27 年 4 月 21 日に、6 年生児童 65 人を対象に実施しました全国学力・学習状況調査の本校の結果概要と今後の具体的な取組についてまとめましたのでお知らせいたします。本年度は、国語・算数・理科の 3 教科について、「知識」と「活用」の 2 種類の問題が出題されました。国語 A・算数 A・理科では、身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などについて、国語 B・算数 B・理科では、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などについて出題されています。（理科は「知識」と「活用」の問題が一体的に出題されています）

今回の調査結果を受け、学校として子どもたちの学力の定着に向けた取組を一層すすめていきたいと考えています。各家庭におかれましても、以前に配付した「家庭学習の手引き」を参考に、学校と連携した取組に向け、ご理解・ご協力をお願いします。

教科調査の結果分析より

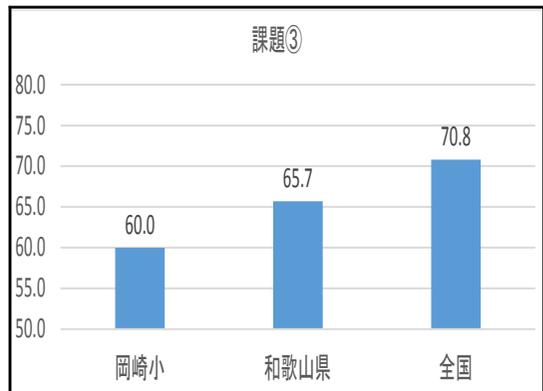
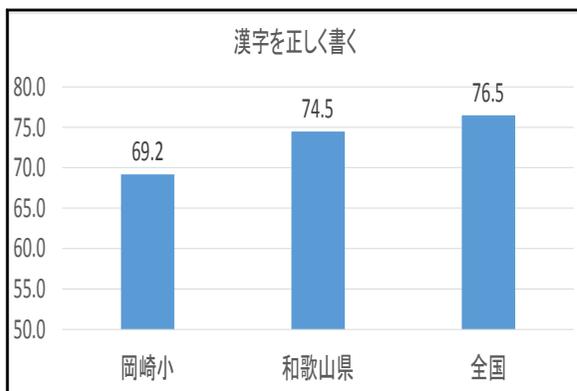
〈国語科の調査結果に見える本校児童の傾向〉

過去 3 年間の推移を見ると、3 年前と比べ国語 A は全国平均との差はあるものの、縮まってきている。国語 B は昨年度、全国平均を上回り、本年度も 3 年前と比べると国語 A 同様差は縮まってきている。しかし、本年度の結果を全国平均等と比較した場合、より力をつけていく必要があることがうかがえる。「読むこと」の領域に関して、文章の中から必要な情報を読み取る問題はおおむねできている。また、漢字の読みは全国平均値以上である。しかし、読み取った情報を生かしてまとめたり、わかりやすく説明したりすることに課題があり、内容を要約し与えられた条件（字数制限など）の中でまとめて書くことも苦手である。

課題① 漢字を正しく読むことはできるが、書くことに課題がある。（グラフ参照）

課題② 相手の意見と自分の意見を比較して、考えをまとめることに課題がある。

課題③ 様々な情報を活用して課題に答えたり、条件に合わせて書いたりすることに課題がある。（グラフ参照）



〈算数科の調査結果に見える本校児童の傾向〉

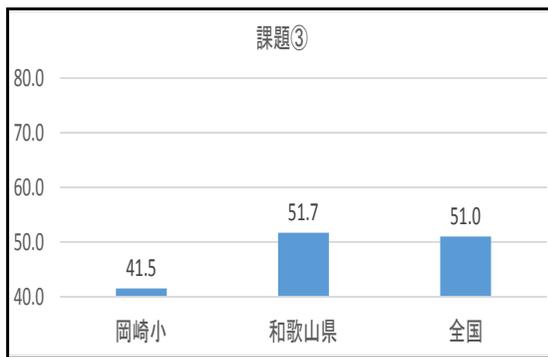
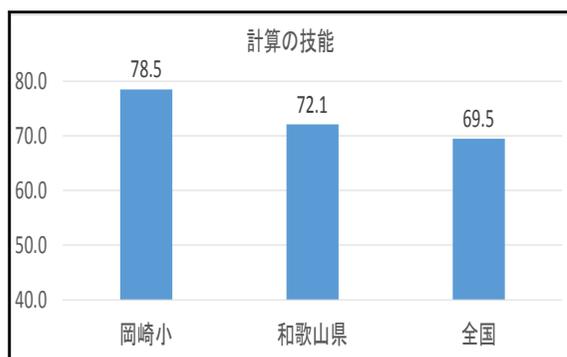
基礎的な内容については、計算の技能の正答率が県や全国よりも上回り、着実に力がついてきている。(グラフ参照) 3年前と比べると、3年前は全国平均を下回っていたが、昨年からは全国平均以上の結果となっている。これは、月～金曜日に実施している学習タイムの取組の成果が現れていると考えられる。しかし、その力を活用したり応用したりして答える算数 B については、県や全国平均を大きく下回る設問があるなど、課題が残る結果となっていて、今後も一層取り組む必要がある。

課題① 問題の答えに対し、あらかじめ見当をつけたり、想像したりする力が十分についていない。

課題② 条件を満たして説明する場合、いくつかの条件は答えられるものの、すべての条件をそろえて書くことができていない。

課題③ 数量の関係を式に表したり、式の内容を読み取ることに課題が見られる。

(グラフ参照)



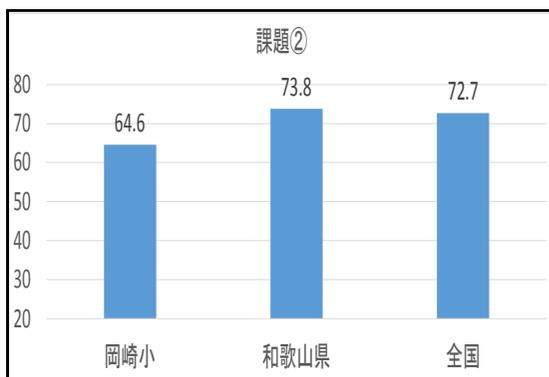
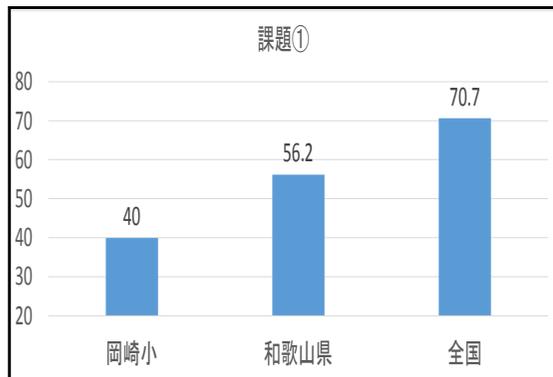
〈理科の調査結果に見える本校児童の傾向〉

生物や天体など、観察の結果が明確なものについてはよく理解している。しかし、科学的な言葉や概念、複数の条件や実験結果から答えを導き出すことに課題が見られる。また、実験器具の名称を正しく理解していないという実態も明らかとなった。

課題① 器具の正しい使い方と名称、また、どのようなときに使うのかといった基礎的な内容が定着していない。(グラフ参照)

課題② 実験する目的に合わせた条件や、複数の実験結果から読み取った事実と、それを根拠としたことを十分に記述することに課題が見られる。(グラフ参照)

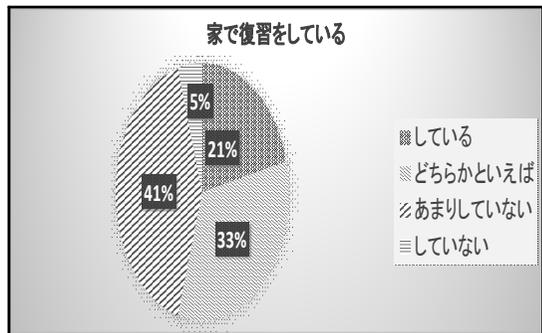
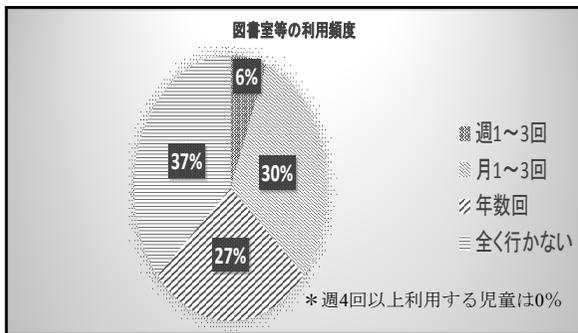
H27 理科



質問紙調査の結果分析より

「学校に行くのは楽しい」と答えた児童は 98.5 ポイントで、友達関係が良好で、学校で楽しく生活できていると考えられる。また、学習に対しては、発表することや友だちの話を聞くこと、家で学校の宿題をするといった項目で高いポイントとを示している。さらに、「人の役に立ちたい」「人の気持ちがわかる人間になりたい」「将来の夢や目標を持っている」「自分にはよいところがあると思う」という質問でも高いポイントを示しており、日頃の道德教育の取組が、人としての心の成長や人間性、自己肯定感(自尊感情)を養っていている結果といえる。

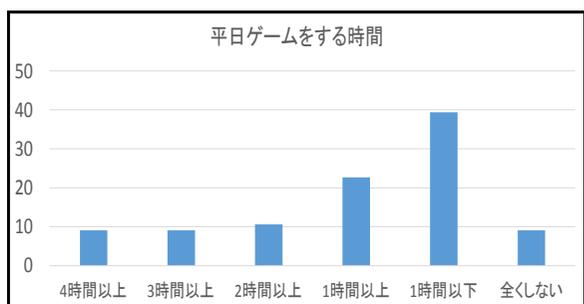
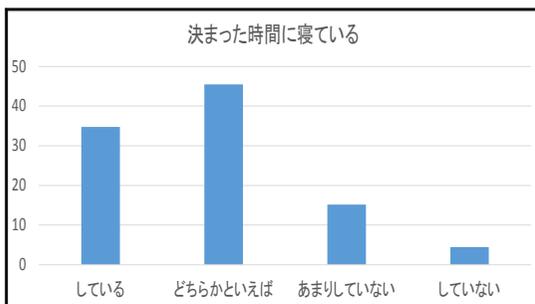
- 課題① 休みの日の学習時間や授業の復習があまりできていない。
- 課題② 今回文章を書く問題では、解答しなかったり、書くことを途中で諦めたりした子や全く解答しなかった子の割合が多い。
- 課題③ 昼休みや放課後、学校が休みの日に、学校図書室や地域の図書館をあまり利用できていない。
- 課題④ 今住んでいる地域の行事にあまり参加できていない。



基本的な生活習慣について

基本的な生活習慣に関する項目では、「朝食を毎日食べる」「決まった時間に起きる」で「している」・「ほとんどしている」と答えた児童が 100 %、と高いポイントだったのに比べ、「毎日決まった時間に寝ていますか」の問いに対しては、「している」・「ほとんどしている」と答えた児童が 80.3 % となっています。また、平日 1 日当たりのゲームをする時間では、2 時間以上と答えた児童が約 3 人に 1 人となっています。睡眠時間やゲームをする時間の課題は、学力に影響を与える要因の 1 つと考えています。

「早ね 早おき 朝ごはん」の 3 拍子が揃ってこそ、健康な体作りにつながり、健康な体から、子どもたちは「体力」「学力」を身につけることとなります。是非とも基本的な生活習慣の定着に、ご理解・ご協力をお願いします。



調査結果を受けて本校が具体的に取り組んでいくこと

- ◎学習タイムでは、月・水・金曜日は算数（計算のスキルを高めるためのドリル学習。また、つまずきの多く見られるところは、ワークシート等を重点的に活用。）、火・木曜日は、国語（語彙力を高めるためのワークシート等の活用。絵本の読み聞かせや読書等。）の学習を工夫して取り組みを一層充実させる。
- ◎今回の調査で明らかになった課題の中でも、特に弱いと考えれる「書くこと」について力をつけるために、「紀州っ子学びノート」等を活用して、授業の中などで自分の考えをまとめて書く練習をしたり、様々な教科の学習の中で1日1回は必ず書く活動を取り入れていく。
- ◎授業では毎時間の中で、子どもがはっきりと「めあて」を持ち、学習後の「振り返り」を大切にしていく。
- ◎読書の機会をいっそう多く取り入れる。（休憩時間にも、気軽に本を読める環境づくりをするために、県・市立図書館の一括貸し出しや、高校生読み語りボランティア等を活用した読み聞かせなど、読書の時間を少しでも多く取り入れていく）
- ◎学校だより等で地域の行事を紹介するなどして、子どもたちが行事に参加できるよう呼びかけていく。

《学校と家庭が連携した一層の取組に向けて》

- ◎「家庭学習の手引き」を参考に家庭でも学習習慣が身につくよう一層のご協力をお願いします。
- ◎高学年になっても、集中して学習できにくい状況が見受けられたり、学習用具等の忘れ物が目立ったりします。それぞれの学年に応じた家庭学習のポイントやしかた、家庭でのかかわり方等の参考にいただき、家庭でしっかりとサポートをお願いします。
- ◎フォローアップのための時間を確保していきます
つまずいているところを少しでも早く、少しずつでも分かるようにして、学力向上に繋げていくため本年度も、毎週月・火曜日に放課後30分程度の補習の時間を確保しています。家庭からの希望等、必ず、担任と保護者が連絡・相談の上で取り組みたいと考えていますのでよろしくお願いします。
- ◎読書の時間の確保を学校だけでなく家庭でも取っていただくために、「うちどく」の一層の充実を図っていただくことで、学校と連携しながら本好きの子どもを増やしていきたいでしょう。

家庭学習の手引き



岡崎小学校

年度初めに、学校から各家庭に配付している「家庭学習の手引き」を参考に、机に向かう習慣を身につけていきましょう。

なお、「家庭学習の手引き」は、学校ホームページでも紹介していますのでご覧ください。